

北九州市の環境技術の世界へ。

中南米の研修員が北九州で学んでいます。

北九州市は、2010年に国から環境未来都市として、そして2018年にはOECDからアジア初のSDGs未来都市として選定され、その産官学民連携による公害克服の歴史や持続可能な都市づくりへの取り組みは、国内外で高い評価を受けています。

国際協力機構(JICA)では、持続的な都市開発に不可欠な廃棄物処理のしくみや官民連携による都市整備の手法を海外で導入・運用するための実践的な能力向上を目的として、2月2日(木)から2月22日(水)まで、研修コース「持続的な都市開発のための都市経営(B)」を実施し、中南米から7名の研修員を受入れています。

この研修では、講義や視察を通じて地球温暖化対策、都市河川の治水整備、廃棄物処理等に必要な知識と技術の習得を目指しますが、研修の総括として北九州滞在中に学んだことを現地で実行するためのアクションプランの策定と発表を行います。是非、取材のご検討をお願いいたします。取材いただける場合は、2月17日 17:30までに問い合わせ先までご連絡をお願いいたします。

■研修参加者(6か国・7名)

ボリビア、ブラジル、コスタリカ、ドミニカ共和国、エクアドル、ペルー

■取材対象日程

- 2月21日(火)9:00~12:00 場所:JICA九州センター(北九州市)
アクションプラン発表会
- 2月21日(火)15:30~17:00 場所:JICA九州センター(北九州市)
閉講式

※ 研修全体日程、研修員リスト、研修場所住所は、取材時までにご案内いたします。

※ 研修内容や研修場所の広さにより、時間や取材可能人数等に制限が出る場合があります。

【本件に関する問い合わせ先】

JICA九州 研修業務課 (担当 金勝、衛藤)
TEL 093-671-7175 FAX 093-671-0979